

地域おこし協力隊のふくしま散歩!

昨年の4月から研修と試験をしてきた農産物検査員の資格も、今年の7月に研修の終了証をもらい検査員証も送られて来ました。

基本的な資格は取ったのですが毎年米麦改良協会が行う技能確認試験に合格しないとその年の検査が出来ない事になっていたので、7月25日にJA厚沢部で行われた今年度の農産物検査員技術確認試験を受けて来ました。

内容は法令関係や職務規定の筆記問題と、ソバ・うるち玄米の等級判定と粳の合格判定、更に今回は玄米の粒から5種類の品種を当てるといふ問題もありましたが、結果無事に合格しまして今年の検査資格をいただきました。

福島町での検査場所は結局福島農協の倉庫内を一部改装してそこで検査をする事になっていて、8月中旬に検査場所が完成する予定になっていきます。検査機器も米麦改良協会の方と相談しながら一通り注文を出しまして、9月上旬には検査場所の申請を出して、認可が降りるまで1ヶ月くらい掛かるそうなので10月半ばくらいには実際に検査が出来るのではないかと感じています。

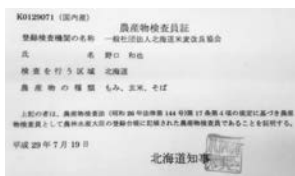
今年やっている畑では落花生が予想外の結果になってしまいました。原因は種を直播した事と春先の低温と長雨と今年からマルチを掛けた事で土壌が水分過多になった事だと思えます。マルチは晴れている日が続くと地温が上がって良いのですが雨ばかりだと水捌けが悪く逆に悪影響が出てしまいます。毎年天候は変わりますのでその年の天候に合わせてやり方が出来るかは経験から来る引き出しの多さなのでしょうね。私もこういう失敗を引き出しに変えて今後の成功に繋げていこうと思います。



地域おこし協力隊 野口 和也



▲検査員機器



▲検査員証

ました。午後からは「つぶつかみどり」、「宝物さがし」が行われ大勢のお子様や家族連れに参加して頂き、大盛況のうちを終了しました。

その他8月は第31回やるべ福島イカまつり、横綱記念館20周年記念イベントも開催され、福島町が1年で最も活気のある時期だったのではないのでしょうか。

地域おこし協力隊としては3つのイベントに携わり、会場の準備作業のほか企画、発案をさせて頂きました。横綱記念館20周年記念イベントでは道の駅の駐車場に簡易の土俵を設置したり、行司の軍配をイメージしたうちわを配布いたしました。今まで誰も考えつかない新しい企画などを取り入れる「オリジナル」も大事ですが、私の経験や性格上、いかにお客様に楽しんで頂けるかを中心に考え発案しました。会場に足を運んで頂いた方は楽しんで頂けたでしょうか。

3つのイベントを通して私自身、反省点や課題はありますが活気ある福島町をみて町民の団結力を感じました。今後は反省を次に活かして楽しんで頂けるイベントなどを町民の皆さんと協力し、福島町を盛り上げたいと思っています。



地域おこし協力隊 猪熊 矩剛

あつと言いう間に夏が通り過ぎ秋の季節になりました。町民の皆様はいかがお過ごしでしょうか。

8月6日は第6回マリンフェスタが開催されました。当日は曇空でしたが午前中からビーチバレー大会に9チームが参加され白熱した試合が繰り広げられました。



▲▼うちわを使った抽選会や盛大な餅まきなどを行いました。

